

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日本語とインドネシア語の待遇表現に関する考察
Author(s)	ユユン ロスリヤー,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 1989 : 29 - 39
Issue Date	1990-03-15
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039260">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039260</a>
Right	
Relation	



## 日本語とインドネシア語の 待遇表現に関する考察

ユユン・ロスリヤー

### 謝意

多くの方々のお数えで、このレポートは仕上がった。ご指導をいだ私の指導教官である縫部義憲先生をはじめ、日本の方の皆さん、ご協力してくれたチューター橋本佐知子さん、山根すみこさん、私を力付けてくれたインドネシアの友達に、心より感謝の言葉を申し上げます。

## 第三章

### はじめに

我々は言葉でものを考えたり、人を理解したり、自分を表現して人に理解してもらうことができる。コミュニケーションの一つの手段として、言葉が存在すると、言葉のつながりが利用されている。言葉のコミュニケーションを通して、他言語あるいは他国の民族がお互いに文化、習慣などを知って、相手に理解することができるようになっていく。これを異文化間のコミュニケーションとよんでいる。

我々は、言語的および非言語的手段で言葉で相手に対して敬意を伝えることができる。言語的手段で、敬意を表したものが「待遇表現」というものである。

このレポートは、インドネシア語と日本語の待遇表現を比べてみて、どのような点が違う、また、どのような点が同じかということを理解したいのである。

日本語とインドネシア語の待遇表現を比較することにより、言語理解が深まりひいては異文化理解も深まっていくのである。

さて、本論文の構成は以下の通りである。

- － 第一章：はじめに、
- － 第二章：日本語の待遇表現とそのはたらき
- － 第三章：インドネシア語における待遇表現とそのはたらき
- － 参考文献

## 第二章

### 待遇表現のはたらき

#### 待遇表現と表現効果

##### 1. 関係認識と待遇

「待遇表現とは何か」と聞いて、なかなか答えるのが難しいである。答えてみてもそれで、待遇の脳みが解決するわけでもない。待遇表現を使わなければならない場面というのは、いつも、人のことを気にしていなければならない場面である。待遇表現のことを考えないで、ものを言ってしまうたり、待遇表現を使ったつもりでも、使い方を間違えたりすると、相手が不愉快な顔をしたり、怒りだしたりすることがある。「あいつはものの言い方を知らないやつだ。」とか「失礼なやつだ。」とかというわさが伝わってくることもあるのである。

##### 2. 待遇表現は何を表すか

待遇表現は何を表すかということ、いくつかの特徴を指摘することはできる。

- 一言葉の送り手（話して、聞き手）なんらかの対象についての一種の顧慮があるということである。それは何かを気にするとか、何かについて気を配るということである。
- そうした顧慮は、つねに送り手のなんらかの評価的態度をともなっているということがある。

##### 3. 待遇の表現効果

###### —敬意の効果

目上の人、自分や、地位や、年齢が上の人、先生などに対する尊敬の気持ちを表す。

###### —社交じょうの礼儀として改まった効果

会議、目上の人が同度しているような改まった場で話し、女性同士の会話に多く見られる。

###### —相手と距離を置く効果

相手に対して「まだあまり親しくないのだ。」「他人なのだ」という意識を表す。

###### —話し手に品格、威厳を与える効果

待遇表現を自由に駆使できるということにより、話し手に品格がそなわる。

###### —親愛の気持ちを表す効果

親や幼稚園の先生が幼児に対して使う愛称や待遇表現は、親愛にの気持ちや優しさを

もっばら表すものと言ってもいいだろう。

一皮肉・からかい・ふざけの効果

親しい者同士の会話で、一步が急に敬意の高い表現を使った際に見られる。

A: なぜわたくしにそのようなことをおっしゃるのですか。ご説明なさっていただけませんか。

B: 何だよ。急に改まって。

#### 4. 待遇表現の体系

一待遇表現の種類

日本語の待遇表現のなかには、ふつう大きく分けて、三種類のもの「尊敬語・謙讓語・丁寧語」があるとされているが、美化語ということもある。

##### 敬意を表す「尊敬語」

「尊敬語」は話し手が、聞き手や話題となった人物を高めることで敬意を表す言葉づかいをするものである。

例えば：「お話しになる・いらっしゃる」「社長・～さん・～様」などである。

##### こちら側を低める「謙讓語」

これは、話し手が、話し手や話して側に属する人物を低める言葉づかいをするものである。こちら側を低めて言うのは間接的に向こう側を高め、敬意を表したことになるからである。例えば：

「お持ちする・拝見する」などである。

##### 丁寧にものを言う「丁寧語」

丁寧語というのは、今までの尊敬語・謙讓語とは少し異質なものである。これは、言葉の使い方を丁寧にすることで同じ言葉の場面の中にいる聞き手に敬意を表すものである。

例えば：「吉田です。行きます」「お酒・お金」などである。

##### 話し手の言葉を上品にする「美化語」

丁寧語には聞き手に対する配慮を示すというよりは、話し手自身の言葉づかいを上品にする使い方である。先に「お酒」「お金」は丁寧語と感じられないかもしれない。

例えば：「お野菜・お花・おにんじん」など、それは女性語だと感じるだろう。

一待遇表現の形式

##### 1. 尊敬語の表現形式

「いらっしゃる・なさる・おっしゃる・ご存じ」、「お(ご)～なさる」、「お(ご)

～になる」、「お（ご）～ください/くださる」、「お（ご）～です」、「～れる（られる）」、「さん・様・先生・部長」

## 2. 尊敬語の表現形式

「おる・いたす・申す・存じるなど」、「お（ご）～する」、「お（ご）～いたす」、「お（ご）～申す/申し上げる」、「お（ご）～いただく/いただける」、「お（ご）～願う」

## 3. 丁寧語の形式

「～です」、「～ます」、「～でございます」、「お金・お酒」

## 第三章

## インドネシア語における待遇表現

インドネシア語の体系の中には（英語の場合でも）、日本語のような上下の関係を表す、あるいは新疎の関係を表す体系はないのである。けれども、インドネシア語でも「もし私があなたにお願いしたならば、あなたはこういうことをしていただけますか」の場合は、インドネシア語の「tolong/トロング」「silakan/シラカン」「bolehkah...?/ボレ-カ...?」などを使うという形で、相手に対する敬意を表すということがあるのである。

例えば：1. Ambil buku ini = この本を取ってくる?

取る 本 この

2. Tolong ambilkan buku ini = この本を取ってください

~てください 取る 本 この

3. Silakan ambil buku ini = この本を取っていただけますか

~いただく 取る 本 この

4. Bolehkah saya minta tolong mengambilkan buku ini? = この本を取っていただけませんか

私 ~てもらう 取る 本 この

などは待遇表現を表す文であろう。しかし、日本語のような待遇表現を表す言葉づかいがなく、「人を呼ぶ言い方」しかないのである。

なぜインドネシア語に待遇表現がないのか

インドネシアは島国で、一万三千以上の島からなりたっている国である。その一つ一つの島によって言語も違うのであるし、それよりも、それぞれの地方によってまた、言葉も違うし、各地方によって、待遇表現は使用されているわけである。

世界で多言語を使用する国として、インドネシアの五六七言語は二番目である。（金田一春彦）の「日本語（上）。そのため、地方と地方、島と島との言語を通じるため、国語としてインドネシア語ができた。

インドネシア人は、少し離れたところへ行って、何かを尋ねようとしたことができたなら、よその言葉を分からないと、ときどき心配することもあり、なかなかコミュニケーションが通じなくなってしまうからのである。

インドネシア語は共通語として全国に利用され、それとも地方語から取られた敬意を表す言葉が、国語のものとして取り入れたのである。

インドネシア語に当たる人を呼ぶ言い方についても多いである。

## 1. 自分の呼び方

### 1. 1. 「SAYA/ヤ」「AKU/アク」

インドネシア語には一人称「私」に当たる表現の「saya/ヤ」または「aku/アク」は日本語と少しちがって、使い分けがなく、男性と女性が独立で表現されていて、標準語に使われている言葉である。

しかし、「saya」が「aku」よりよく使われている言葉である。それは私が育った環境で、「aku」は「saya」より丁寧ではない、俗語的な言葉だということになっているからである。特に目上に対する言い方が敬意を表していない表現だという。

例：-Saya adalah mahasiswa asing.

私 は 学生

▶ 私は学生です。

### 1. 2. 「KAMI/カミ」「KITA/キタ」

日本語の「私達」「我々」はインドネシア語では「kami/カミ」「kita/キタ」に当たる表現である。しかし日本語の「私達」「我々」という表現がインドネシア語の「kami」「kita」とは少しも違って、使い分けがある。「kami」という表現は一人称と三人称を表し、話し相手、つまり二人称が含まれていない表現であり、「kita」ということは一人称と二人称を表しているが、三人称を含むこともできる。

例：-Kami akan menikah bulan depan

私達 結婚し 期

▶ 私達は来月結婚します。

-Kita adalah warga negara Indonesia

我々 は 国民 インドネシア

▶ 我々はみんなインドネシア国民です。

「saya, aku, kami, kita」の自分の呼び方以外は地方語から取った自分を呼ぶ言い方も多く使われている。自分のことを言うのに、表現によって相手と自分との関係の上下、あるいは遠い近いというものを表す。「saya」とか「aku」などという表現と違って、「だれについてもそれで現われる」という言葉とはできない。

例えば：「hamba/ハバ」、「patik/パイク」、「awak/アワ」などはスマトラ語から取られた言葉である。



## 2. 相手の呼ぶ言い方

インドネシア語では相手のことを呼ぶ言い方の表す表現は、機能や階級や地位名などの相異を明らかにするための言語象徴として多く用いられる。

### 2.1. 「KAMU/カム」

インドネシア語における第二人称を呼ぶ言い方の「あなた」に当たる表現は「kamu/カム」という言葉は一つのものである。しかし、このような表現はあまり高くない待遇価値を持っている表現からである。同年齢に対する言葉とか、目下の人のために呼びかけるとか、若者たちがよく使われている言葉である。日本語の「あなた、君、お前」などにあたるインドネシア語の「kamu」という表現は中立的な言葉なので、男性または女性が両方使えるものである。

例：－ Kamu harus rajin belajar

君 しなげばならない いっしょけんめい 勉強

▶ 君はいっしょけんめいに勉強しなげばなりません。

### 2.2. 「ANDA/アンダ」

「anda/アンダ」という表現は「kamu」よりももっと敬意をこめた言葉である。相手の方に敬意を表そうとすれば、「anda」という表現のほうがもっと適切な言葉である。特に、初めて人と会ったときだとか、何かを尋ねようとする場合だとか、話しかける場合もよく用いられる表現である。

「kamu」と同じように、「anda」という場合でも男性の言葉だということはない。女性も誰でもよく使われている表現である。

例：－ Apakah anda orang Jepang?

～ですか あなた 人 日本

▶ あなたは日本の方ですか。

### 2.3. 「BAPAK/バパ」 「AYAH/アヤ」

インドネシア語の中で「bapak/バパ」[ayah/アヤ]という表現はいくつかの意味を持っているのである：

#### －父親に対する呼び方

英語で言えば、子供は父親に対して「お父さん」のことを「ババ」とか「daddy」と表現されている。インドネシア語でも、最近「お父さん」のことを「ババ」という呼び方が増えてきた。しかし、「ババ」とは標準の形とは言えない。よくテレビの番組

で出た言葉であり、自分のものに取り入れるのである。インドネシア語での標準的な表現は「bapak／バ」ayah／アヤ」のほうが一般的な呼びかたである。

例：- Ayah/bapak saya adalah guru SMA = 私の父は高校の先生です。

父 私 は 先生 殿

一目上に対する待遇表現（「先生」、「社長」など）

例：- Bapak Yoshihara adalah guru SMP Midorigaoka = 吉原先生はみどりが丘中学校の先生です。

吉原先生 は 先生 中学校 学名

#### 2. 4. 「BU/イ」

「bapak」と同じ効果、「ibu／イ」の場合でもいくつかの意味が持っており、「BU+人名/職名」となって略されることもできるのである。

例： Bu Elly adalah dosen UNPAD = エリ先生はパジャジャラン大学の先生です。

先生 イ (は) 先生 パジャジャラン大学

#### 2. 5. 「NONA/ナ」 「NYONYA/ニョ-ニャ」

インドネシア語の中には「結婚している」とか「まだ結婚していない」の人に対する呼び方があって、「nona」nyonya」という言葉で表現されているわけ。「nona」と「nyonya」は全く違って、使い分けがある。女性に対して使われている表現である。また、「nona」と「nyonya」の使い分けがあり、「nona」という表現は、まだ結婚していない女性に対して呼ぶ言い方であるが、「nyonya」の場合は結婚している女性に対して表現されている。

例：- Nona Yoshino bulan ini akan menikah = 静さんは今月結婚します。

さん 人名 今 結婚する

- Suami nyonya Aminah adalah direktur = アミナーさんのご主人は社長です。

主人 さん 人名 (は) 社長

しかし、男性の場合は、こんな呼び方が日常生活には表現されていないのである。

#### 2. 6. 「IA (DIA) /イ (アイ)」

日本語に当たる「彼・彼女」は、インドネシア語では「ia」または「dia」という言葉で表現されており、使い分けがなくて、女性と男性が両方使える言葉である。

例えば：

- Tahun ini dia akan lulus IKIP Bandung = 彼/彼女は今年インド教育大学を卒業します。

今年 彼/彼女 卒業する インド教育大学

## 2.7. [BELIAU/ブリアウ]

上記の「beliau/ブリアウ」という表現は目下の人が目上の人に対する言葉とか、職名の高い人「社長など」に対する言葉がよく使われている。「bapa」と「kibu」の使い方はよく似ているけれども、「bapak」「ibu」のほうが一般的な表現である。しかし、もし「あの人が偉い人だ」という状態で「beliau」のほうがよく表現されている。

例えば：「領事が神戸から広島に来て、インドネシアの独立記念日のお祝いをしにくる」という状態で、どのような「領事」のことを待遇の表現を表したらいいのかというと、次のように文を書き直すと、

Bapak konsul jendral/Beliau datang ke Hiroshima untuk memperingati hari kemerdekaan

領事 来る へ 広島 お祝い 独立記念日

kaan RI

インドネシア共和国

▶ 領事は広島インドネシア共和国の独立記念日をお祝いしにいらつしやいます。

## 参考文献

- |                                      |                          |                                   |             |
|--------------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|-------------|
| — 日本語の文法（古点編）                        | 大野すすむ                    | 角川書店                              | 1988年10月30日 |
| — 敬語                                 | 大石初太郎                    | 筑摩書房                              | 昭和57年11月20日 |
| — 「ことば」シリーズ1                         | 林 四郎                     | 文化庁                               | 昭和62年6月30日  |
| — いつでもどこでも正しい<br>敬語が話せる本             | 日向茂男                     | 中経出版                              | 1989年3月11日  |
| — 教師用日本語教育<br>ハンドブック⑤ 語彙             | 浅野百合子                    | 国際交流基金<br>The Japan<br>Foundation | 1988年10月31日 |
| — 外国人のための日本語例文<br>問題シリーズ⑩ 敬語         | 平林周祐                     | 荒竹出版                              | 昭和63年1月31日  |
| — 現代人のための日本語の<br>堂職大百科               | 池田弥三郎                    | 講談社                               | --          |
| — INTI SARI TATA BAHASA<br>UNTUK SMP | DRS. Abdullah<br>Ambarry | Penerbit<br>Djarmika,<br>Bandung  | Mei 5, 1983 |
| — 言葉づかひの基礎知識                         | 加藤勝久                     | 講談社                               | 1989年5月15日  |
| — 日本語中級 I                            | 東海大学留学生<br>教育センター        | 東海大学<br>出版会                       | 1988年2月5日   |
| — 「ことば」シリーズ 24<br>続敬語                | 南不二男                     | 文化庁                               | 昭和61年3月31日  |
| — 日本語新版（上）                           | 金田一春彦                    | 岩波新書                              | 1989年4月20日  |